

導入事例

マーフィーオイル社

マーフィーオイル社は、
グローバルなソフトウェア費用を削減し、競争力を強化

マーフィーオイル社は最初の2年以内に32倍のROIを獲得し、莫大な節約を実現

概要

- マーフィーオイル社は、合併したビジネスユニットのIT資産を統合する必要がありました。地球科学探査のポートフォリオには250のアプリケーションが含まれ、サブスクリプションのコストは毎年7億5千万円にも達していました。
- LicenseAnalyzer 2020 Level 1によって、誰が、どのように、どこでリソースを使用しているかを把握できました。
- マーフィーオイル社は、ライセンス使用状況レポートを活用することで、不必要なソフトウェア購入をとりやめ、年間の保守サービスコストを削減して、32倍のROIを得ることができました。

事業概要

マーフィー探鉱・生産 (E&P) 社は、1,300以上のガソリンスタンドを含む小売部門に加え、世界5ヶ所に拠点を構えています。同社が国内外の権益を含む大規模な2つの事業部門を合併した際、IT部門は技術資産の統合と、ビジネスプロセスの合理化およびコスト削減のための戦略的目標の策定を任されることになりました。

経営課題

ほとんどのIT部門は、予算内に収めながら組織のニーズに応えることに苦労しています。多くの場合、ITは戦略的なリソースではなく、コストセンターと見なされています。国内と海外の複数の事業部門を統合したこの組織再編は、IT部門に次のような新たな課題を生み出しました。

- すべてのIT資産を全社的に一元化、統合すること；
- ビジネスリーダーを任命し、IT戦略を経営者レベルでサポートすること；
- リソースがどこでどのように使われているかについてのコミュニケーションが増加したこと。

これらの新たな取り組みを実現するため、ヒューストンにある上流探鉱ビジネスユニットをサポートするディレクターの役職が新たに設けられました。ジェイソン・ダイグレ氏は、地球科学探査アプリケーションポートフォリオ全体を監督するために抜擢されました。そのポートフォリオは250以上のアプリケーションとデータサブスクリプションで構成され、年間の保守サービスに総額8億円かかるのです。

ダイグレ氏は、この取り組みの新任ディレクターとして、ソフトウェアベンダーとマーフィーオイル社の社内窓口とのコミュニケーションを改善するために、SPOC（窓口を一本化する）プロセスを確立しました。それでもなお、ソフトウェアの調達、評価、導入、ライセンスの解放のすべてを、社内の関係者が理解し管理する必要がありました。

解決策

ダイグレ氏は、Windows と UNIX プラットフォームの両方でソフトウェアの使用状況を把握できる、実績のあるソフトウェアライセンス監視ソリューションを探し始めました。このソリューションには、アプリケーションとユーザーの両方のレベルで同時使用状況を把握してレポートし、長期間にわたって使用されていないアプリケーションのライセンスを自動的に解放する機能が必要でした。

マーフィー社の IT チームは、利用可能なソリューションを評価した結果、Open iT LicenseAnalyzer 2020 Level 1 が同社のすべての条件に適合することを確認しました。同社は、35 のエンドユーザーライセンスを選択し、年間保守サービス、さらに導入とトレーニング支援を含めて 日本円にして約560万円の初期投資を行いました。LicenseAnalyzer 2020 Level 1 では、既存のハードウェア・インフラストラクチャを使用することができました。

マーフィー社の地質学および地球物理学部門は、年間約3.5兆円の収益に貢献しており、高価なソフトウェア・アプリケーションを使用する必要があります。年間の保守サービスには 8億円以上の費用がかかり、250 以上の個別のアプリケーションとデータのサブスクリプションで構成されています。IT 部長は、LicenseAnalyzer 2020 Level 1 の機能を、地質学、地球物理学、油層工学 (GGRE) 部門で使用されている高価なアプリケーションに向け、コスト削減の機会を模索し始めました。最初のレポートでは、アクセス拒否、使用状況、余剰ライセンスレポートなど、どのアプリケーションとエンドユーザーがGGRE 地下資源探査アプリケーションをアクティブに使用しているかについての詳細な情報が提供されました。使用状況は、2つの地域と別々のオペレーティングシステムで把握され、使用状況とアクティビティレベルが一目でわかるようになりました。

結果

導入と活用開始から1年以内に、ダイグレ氏はこのレポートを使って、会社のソフトウェア・ポートフォリオについて十分な情報を得た上で、次のような行動に移ることができました。

- 使用率の低いソフトウェアを、必要としている他のグローバル子会社に移管すること；
- 十分に活用されていないアプリケーションの保守サービスを中止すること；
- 全体的な使用率が低い、あるいは存在しない場合、購入依頼をキャンセルすることで設備投資を削減すること - ソフトウェアをより効率的に使用するため、スタッフへの指導の機会を活用すること；
- ビジネスユニット内の余剰ライセンスを見つけ出し、不要なソフトウェアの購入を回避すること；
- 年間3000万円以上のコスト削減実現のために、国内外のライセンスサーバーとアプリケーションを統合すること；
- ライセンスの使用状況をモニタリングし、追加ライセンスの必要な所在を特定すること。

このライセンス使用状況レポートにより、マーフィーオイル社の IT チームは使用状況を詳細に把握し、組織内でライセンスを共有し、新たなソフトウェアの不要な購入をなくし、グローバルレベルでの年間保守サービスコストを削減することができました。最初の2年間で、マーフィーオイル社の総コスト削減額は1億8000万円に達しました。この32倍の投資利益率から、マーフィー社の経営陣は LicenseAnalyzer 2020 Level 1 を全社的に使用し、世界中のソフトウェア使用状況を計測するようになりました。グローバルデータはヒューストンにあるサーバーに一元化され、各ビジネスユニットは同時レポートを受け取れるようになりました。現在、同社の上流ソフトウェアアプリケーションの80%が把握・モニタリングされています。

また、Open iTのソリューションにより、ダイグレ氏は、LAN（ローカルエリアネットワーク）ソフトウェア契約からWAN（ワイドエリアネットワーク）契約へ移行し、グローバルレベルで管理できるようになり、同社の交渉戦略を改善することができました。WAN契約は、ライセンスポートフォリオの標準化に役立ち、ビジネスユニットは共通のアプリケーションサーバーを活用できるようになりました。マーフィー社は、Open iTのLicenseAnalyzer 2020 Level 3のテストを開始しており、それは他のユーザーが長期間使用しないアプリケーションのライセンスを自動的に解放することを可能にします。

Open iTについて

Open iTは、柔軟なソフトウェア使用状況の計測・管理ツールを提供し、顧客へ最良のITソリューションを提供しようとする企業のサービス価値とビジネス実現性を大幅に向上させます。ハードウェアとソフトウェアの先進の使用状況レポートと最適化ソリューションを提供します。お客様は、Open iTのツールやサービスを利用して、ITコストの削減、パフォーマンスの向上、ビジネスプロセスの改善をサポートしています。

Open iT ソフトウェアは、完全にカスタマイズ可能な使用状況レポート、ハードウェアとソフトウェアの使用状況に対するきめ細かいチャージバック、Windows、Unix、Linux プラットフォームにおける自動化された業界最先端のライセンス解放機能などを提供します。Open iTの計測および最適化ツールは、ソフトウェアおよびIT資産の管理者に、ライセンスマネージャを使用していないアプリケーションやウェブアプリケーションに加えて、異なるライセンスマネージャ間での高度な使用状況の計測結果を提供します。

詳細情報

お客様の組織のニーズに最適なソフトウェアソリューションの一部または全部については、sales-jpn@openit.com まで電子メールでお問い合わせください。詳細については、弊社のWebサイト (<https://openit.com/ja/>) をご覧ください。

お客様からのフィードバックを歓迎し、support-jpn@openit.com を通じて技術的な質問にお答えします。



JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂
二丁目23-1
アーキヒルズ・フロントタワー
InControl内
電話:080-9271-1046

AMERICAS

Two Park Ten Place
16300 Katy Freeway
Houston, TX 77094
Tel: +1 281 599 3400

EUROPE | AFRICA

Karoline Kristiansens v. 5
N-0661 Oslo,
Norway
Tel: +47 22 20 40 50

ASIA | MIDDLE EAST

Doña Aurora Blvd.,
Gulang-Gulang, Lucena City
4301 Philippines
Tel: +63 42 710 856